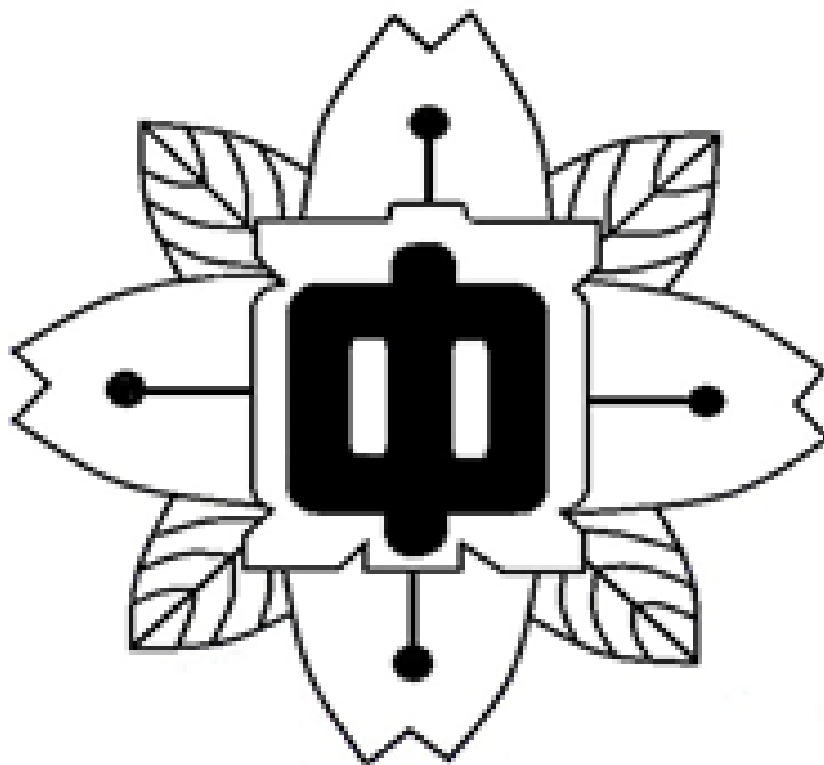


令和5年度

学校関係者評価報告書

(アンケート集計結果からの提言)



令和6年3月

世田谷区立東深沢中学校

学校関係者評価委員会

令和5年度 学校関係者評価報告書（校長への提言）

1 概要

以下の資料等にとり、生徒、保護者、地域の方々へのアンケートをはじめ、自己評価及び学校観察等を実施し、提言方針を示した上で総合評価（校長への提言）としてまとめました。

資料名

世田谷マネジメントスタンダード（平成28年3月世田谷区教育委員会）

世田谷区立学校 学校評価システム

2 調査対象と回収数及び回収率【今年度は、Web方式によるアンケート】

対象	配布数	回収数	回収率(%)
保護者	394	137	34.8%
生徒	417	378	90.6%
地域	95	53	55.8%
教職員	32	32	100%

*教職員数には校長・副校長は含まない

3 調査時期 令和5年10月下旬から11月中旬

4 提言方針

(1)次年度へ向けて

保護者、生徒、地域を集計、その割合(%)をグラフで表示(世田谷区教育委員会による)、各数値等評価結果を、十分に把握・分析し、東深沢中学校の改善すべき点で、直ちに実行できる改善は実行するとともに、次年度に向けた計画を進めていただくよう提言する。

(2) 自己評価報告書について

自己評価の方法、結果の内容、結果を踏まえた改善方法はいずれも適切である。

(3) 改善策の提示

学校関係者評価報告書(校長への提言)を資料とし、東深沢中学校からの改善策を提示していただきたい。

5 提言内容

各学校関係者評価委員から

◎星野 浩二氏(学校関係者評価委員長)(学識経験者)

【生徒】

①学習指導

生徒が授業に満足している結果である。年度当初に各教科の評価について丁寧に説明していく。

②生活指導

学校での過ごし方やルールを、先生の指導を理解して生徒が行動できている。

③学校行事

先生が生徒の意欲を高め、学校行事を通して生徒に成就感を高めている。

④キャリア教育

3年生は高評価である。1年2年は項目によって評価が分かれる。分析して指導につなげたい。

⑤先生について

「HIGASHI 絆タイム」等の成果で先生と生徒の良好な信頼関係が伺える。

⑥全般について

学び舎の活動として、幼稚園・小学校の行事に生徒がボランティアで参加したり、小学生の部活動体験の実施はどうか。

⑦部活動

部活動に参加している生徒は高評価である。

⑧学校独自項目

教職員・保護者・地域の方が生徒の良さをたくさん発見して褒めてあげたい。生徒の自己肯定感を高めることができる。

【保護者】

①学習指導

学校公開等で保護者が実際に授業に参観して評価してほしいが、生徒から授業の様子を聞いて答えているのではないか。

②生活指導

落ち着いた校風が保護者に浸透している。

③学校行事

高評価であり生徒の成長に学校行事が大きく関わっていることを理解している。

④キャリア教育

概ね満足している。

⑤教職員

教職員への保護者の厚い信頼が伺える。

⑥全般

生徒が学校生活を楽しく達成感を感じていると強く思っている。

⑦部活動

部活動に所属していない生徒の保護者は答えようがない。部活動に所属している保護者は高評価である。

⑧情報提供

学び舎の実践と情報発信する。

⑨学校運営

学校運営に関する情報発信を、ホームページ・各たより・保護者会等で行っている成果である。

⑩家庭と学校の連携

3項目とも肯定的評価が微増している。日曜日の学校公開は難しいでしょうか。

⑪地域との連携

地域と学校との具体的な協働行事等を情報発信していく。

⑫学校の安全性

学校の安全指導をよく理解している。

⑬学校独自項目

保護者は、自分の子どもは正しい判断で行動ができ、良好な人間関係を結ぶことができていると思っている。

【地域】

生活指導の「交通ルール」の項目だけが微減したが、他の項目は肯定的評価が昨年度よりも高くなった。昨年度はアンケートがデジタル化したため回収率が低かった。今年度のアンケートは、従来の紙ベースとデジタル化を選択したため回収率が高くなったためではないか。

◎黒木 勉氏(学校協議会会員)

【生徒】

1 から 8 の項目すべて肯定的な回答となっています。特に先生と生徒の信頼関係が良好であることがアンケート結果として出ています。ただ、2 学年で生活指導のところで子どもたちが少し悩んでいるようにも思いますので気になるところです。

【保護者】

学校での我が子について関心を持っている方とそうでない方ではアンケートの項目に違いが出ていると思います。肯定的回答で子どもたちが安心して学び楽しく学校生活を過ごしていること、学校から保護者にしっかりと情報を提供されて理解されているかがわかります。

【地域】

地域の評価は学校だよりで様子を窺うしかありません。そのために「わからない」「あまり思わない」項目がいくつか出てきているようです。学校と携わっている方は理解されていると思います。今後とも子どもたちが安心して学べるようお願いいたします。

◎井原 久美子氏(学識経験者)

【生徒】

アンケート結果より、今年度も引き続き学校生活、行事、部活動への満足度が高く、大変有意義な学校生活を送っていることが伺えました。学びについては、話し合ったりする授業と、ICT を用いて行う授業を駆使してアクティブな学びを今年度も高く評価していました。近い将来、次々生まれる新しいテクノロジー（ChatGPTなど）についての取り扱い等についても学校や先生側の意識が求められていくのだろうと思われます。

また、学校独自項目の一つ、「思いやりの心や認め合う心をもって友だちや他の人と接している」という項目について注目しました。生徒全体のデータでは気づきにくいのですが、学年を追ってみると、3年生でほとんどが肯定回答になっていました。1～2年時は「あまり思わない」生徒が10%程度はいましたが、3年生ではほとんどの生徒が「思う」と回答しており、学校における多様性についての学びの効果も含め、3年目の成長が伺えました。

【保護者】

今年度も保護者からみて、学校行事、部活へ取り組む子供の姿は評価が高く、素晴らしい回答結果となりました。学校との連携について、全体的に保護者が学校公開や行事などに積極的に参加する傾向はそれほど高くない結果でしたが、逆にこれは学校からの保護者への積極的な情報発信や子供からの情報共有の効果でもあると思われます。学年が上がるにつれて、学校との関わりが増えている傾向がみられました。

【地域】

高い評価で注目したのは、「地域の人や施設を教育活動に活かしている」項目です。学校の様子を地域といつも共有されることで、地域との信頼と繋がりが構築、維持されており、そこから地域という一社会を活かした学校内では学べない貴重な活動が生まれるものと考えます。「地域への配慮がある」という項目も肯定的であり、今後もさらに学校と地域と連携した様々な活動が増えることを期待しています。

最後に、今年度行事の一つ、学芸発表会を鑑賞させていただき、生徒の皆さんの熱いエネルギーと一体感、躍動感に感動しました。地道な練習を重ねて、当日に向けて仕上げたプロセスは机上では学べない経験で、東深沢中学校の行事への満足度の理由が伺えました。

来年度の更なる発展を期待しております。

◎渡邊 修氏(卒業生代表)

【生徒】

本年度のアンケートも各項目で高評価となっています。

学校行事の項目は例年通り9割以上が高評価となり、東深沢中学校の充実した行事は、生徒の皆さんが楽しさや達成感を感じる大きな要因になっていると思われます。

比較的評価の低い項目が多めにあった設問に、「キャリア教育について」と「地域を大切にしているか」がありました。

「キャリア教育」については、2・3年生は高評価が多いので、1年生からの3年間を通したキャリア教育も検討ください。

「地域を大切にしているか」については、生徒にとって東深沢が自分の地域という意識はまだ感じられる事が少ないかもしれませんが、地域人材の授業や学校行事への活用や、地域活動への参加などをさらに行って頂ければと思います。

【保護者】

保護者アンケートも全体的に高評価となっています。

特に学校行事や学校からの情報提供への評価が高く、学校の取り組みが保護者に伝わっている結果と思われます。

回答で「分からない」が多かった設問に、「本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。」がありました。学校公開や保護者会などの場を活用し、生徒だけではなく、保護者へもプリント内容の周知ができれば良いかと思えます。

【地域】

地域アンケートも全体的に高評価となっています。

今年度より学校行事に地域の方が参加出来るようになった事から、アンケート結果に大きな変化が出ました。

「学校行事の内容は充実している。」への設問には、1番評価の高い「とても思う」への回答が、昨年度は27%でしたが、本年度は62%を超えました。

また、「学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。」への設問には、高評価の割合が、昨年度62%から本年度83%と改善されました。

学校行事の充実が東深沢中学校の魅力の一つでもありますので、地域へのさらなる公開と連携を今後ともお願いいたします。

◎羽賀 小巻氏(卒業生保護者代表前 PTA 会長)

【生徒】

○学習について全体的に評価が高く、先生の指導力高評価が素晴らしい。

○"先生は提出物やテストなどを分かりやすく評価している"項目「思わない」「あまり思わない」評価が昨年度より増加している。内申・評定方法も含め説明不足があるのではないかとと思われる。

○キャリア教育は学年が上がるごとに評価は高く理解度が増しているが、昨年度より全体的に評価が下がっている。まだまだ課題があるように見受けられる。

キャリア教育は、世界に一つだけの花を咲かせることができるよう、種子を植え、水を与え、芽がでる基盤をつくる教育であると理解している。

まだ歴史の浅い教育であるため、結果が見えず理解度も低いと思うが、大切にしたい教育である。これからもがんばっていただきたい。

○部活動については全体的に評価は良好であるが、入部していない生徒への対応と、入部しているが満足度が低い生徒がいるのであれば方策が必要。

○学校独自事項"自分自身の良いところを理解している"評価が昨年度より 3.4%UP。

改善方策としての成果が見られるが、欲を言えばこの項目は 100%の高評価を期待したい。

挫折と失敗を経験し、自分自身を大切にし、自己肯定感が上がると自分自身の良いところが理解できるようになるのではないかとと思う。その上で、友達や他の人を大切にできる世界観が理想的ではないでしょうか。学校でも家庭でも挫折と失敗をあたたく迎えてほしいと思う。

【保護者】

○学校行事と学校情報発信についての満足度が素晴らしい。先生方のご尽力が結果に表れている。

○家庭と学校の連携について、

保護者がすすんで学校公開と PTA 行事に参加されていないことは大きな課題。

キャリア教育の評価についても、学校公開に参加してもらえると理解と評価が増すのではないかとと思う。

【地域】

○学校行事への参加機会が増え、学校行事と情報発信の評価が上がっている反面、学校運営委員会と学校協議会の役割に対する評価が低いことは残念。活動の公開と情報発信の見直しが必要と思われる。

○コロナ禍明けに伴い、生徒ボランティア活動と学び舎活動機会が増え、項目評価は今後上がるであろう。

アンケートでは見えない部分、そして「思わない」回答は 1%であってもきちんと拾い、これからも心を寄せていただきたいと願う。

◎於保 恭子氏(保護者代表PTA書記)

【生徒】

学習についての多くの項目に高い評価となっていて、先生方への信頼度と学習形態の工夫があるのだと考えられます。

学校行事について 3 年生が最も高評価なことより、3 年間の中学校生活の充実感や達成感が伺えます。

学び舎の交流についての項目が低い評価となっていますが、生徒が関心の持てるような交流の機会が増えて行くことを期待します。

総合的には、学校生活が楽しく達成感があるという高い評価と思われれます。

【保護者】

学校行事について高い評価となっていて、学校からの情報提供の充実や満足度の高い行事内容で関心の高さが伺えます。

PTA や地域の活動への協力不足については、時代にあった活動内容への見直しも必要かと思われます。

総合的には、保護者が知りたい情報が十分にあり、子どもが健全に過ごせる環境にあるという高い評価と思われます。

【地域】

学校行事の内容や学校からのお知らせ、地域への配慮等に高い評価となっており、学校と地域の方々との良いつながりが伺えます。

生徒のあいさつについて、評価の下がる場所もありますが中学生ならではの恥ずかしさもあると思われ、地域の方には引き続きあいさつ運動等で協力を得られたらと思います。